

○～○～○～○～○～○～○～○～○～○～○～○～○～○～○～○

附属特別支援学校 教職員の皆さまへ

こんにちは、いつもお世話になっております。特別支援教育連携推進グループです。

「SNE-T mini」のメルマガ令和4年度12月号をお送り致します。

※「SNE-T mini」のメルマガは、定期的に連携推進グループの活動について報告しております。

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

【報告】第5回 5附属連絡会議 各校の実践発表について

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

12月8日(木)に、第5回 5附属連絡会議が開催されました。附属視覚特別支援学校の佐々木望美先生から、「小学部弱視難聴児童の指導の様子」について発表していただきました。提示された資料や実際の指導場面の映像、更に先生のご説明がとても分かりやすかったので、参加された先生方から、「自分だったら・・・」、「自分の学校だったら・・・」と、具体的な意見をいただくことができました。また、同じく附属視覚特別支援学校の佐藤北斗先生から、「視覚障害生徒の模型を使つての空間や方向の理解の様子について」というタイトルで発表していただきました、校舎の模型の紹介と、その模型を使った授業の様子を映像で見せていただきました。模型を触つて学ぶ生徒の様子をよく見ながら、それに応じた様々な言葉を掛けられる佐藤先生の御指導がとても勉強になりました。お二人の先生ありがとうございました。

次回は、令和5年1月12日(木) 15:30～16:45です。

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：～

【報告】JICA 2022年度課題別研修 「インクルーシブ教育実践強化～すべての子どもを支える授業づくり～」

：：：～

11月10日(木)～12月9日(金)の1か月間、上記のプログラムに、ボリビア、コロンビア、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラスの国々から特別支援教育に携わる様々な職種の7人が参加されました。プログラムは、筑波大学人間系障害科学域の野呂先生、米田先生、左藤先生を中心に実施され、連携推進グループは、研修の最初に行われるオリエンテーション・インセプションレポート発表への参加、授業づくりの講義・演習、最後に行われるアクションプランの発表会への参加を担いました。

特に、11月29日(火)、30日(水)の2日間は、東京キャンパスに場所を移し、連携推進グループ教員5人で、授業づくりについて講義・演習とそれらの運営を行いました。29日の午前は、「授業づくり-個別の指導計画、個別の支援計画、自立活動」、午後は「授業づくり-授業の準備から評価まで-」の2つの

講義を、30日は「授業づくりー講義とワークショップ」、午後からは、「教材・指導法データベースを用いた演習、教材紹介」を行いました。講義では、授業や検査の場面の映像を活用したり、質疑応答の時間をできるだけ設定したりすることで参加者の理解が深まるようにしました。

教材・指導法データベースを用いた演習、教材紹介では、「教材指導法データベース」を参加者がそれぞれのパソコンで検索した後、自国で活用できそうな教材をピックアップし、その理由などについて発表してもらいました。高価な物でなく手軽に手に入る物、簡単に作れる物、自身が携わってる子供たちや、担当教科の指導に使える物など、選択した理由は様々でした。スペイン語圏である参加者たちから、データベースをスペイン語に訳してほしいとの期待が寄せられました。また、盲・弱視体験でシミュレーションゴーグルを着用して、様々な見え方を体験しながら、触読用ものさしと三角定規セットを使ってもらいました。また、イヤーマフを着けて音楽を聴く体験も行いました。和やかな雰囲気の中に、自国に様々な教材や指導法をもって帰りたいという熱意が伝わってきました。

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

【お知らせ】教材・指導法コンテスト2022 教材募集（12月27日締切）

：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：

先生方の教材・指導法をぜひお寄せください。現在、500以上の教材・指導法のデータを掲載しておりますが、更に充実できるようにご協力ください。国内外の方々に、データベースを通して貢献できます。コンテスト実施は3回目ですが、今回も木村賞（最優秀賞）、優秀賞には賞状・副賞を贈呈いたします。必要な提出書類については、各校の5附属連絡構成員の先生方か、グループ員にお尋ねください。たくさん教材をお待ちしています。どうぞよろしくお願ひします。

：：：：～

【お知らせ】現職教員研修について

：：～

10月から約3か月間、中島 恵先生（北海道旭川高等支援学校）が附属視覚特別支援学校で実践実習をされていましたが、実習は12月22日で終了されます。小学部を中心に授業実践は進められましたが、幼稚部、中学部、高等部、音楽科、鍼灸手技療法科、理学療法科の授業を参観されたり、寄宿舎生活を寄宿舎生たちと一緒に送られたりと、1日1日充実した研修を進めていかれました。附属視覚特別支援学校の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございます。1月からは、ご自身の研究テーマに沿って、これまでの実習や研修の内容をまとめていかれます。

また、澤田 佳菜子先生（鳥取県立鳥取聾学校）は、附属聴覚特別支援学校で実践実習中です。様々な学

